

# 第1章

## 成長

### 1. 身体測定法

#### 1. 体重

園児を対象とする体重計は、現在では感度が5gか10gのデジタル式が多く用いられます。タオルなどを敷き0点に合わせてから測りますが、1歳6か月頃の子は動いて測れないことがあります。その場合はおとなが抱いたままで測ってからおとなの体重を差し引きます。ただしおとなの体重計の目盛りは50gですから厳密ではありませんので注意が必要です。

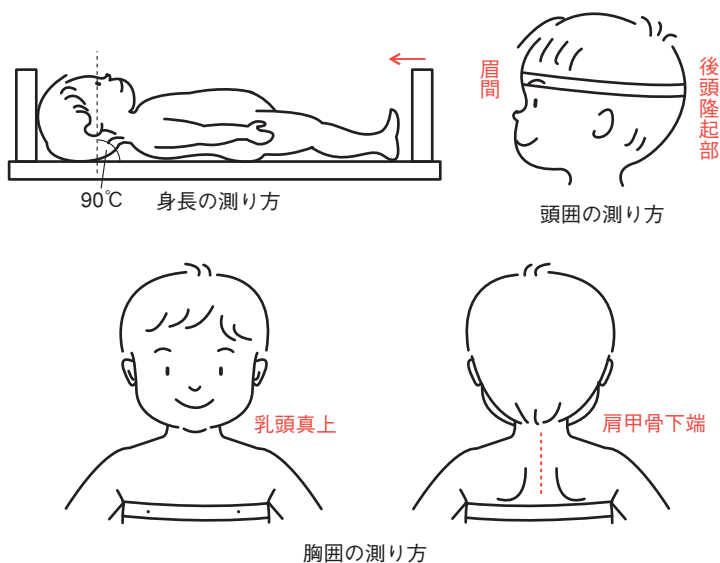
#### 2. 身長

2歳未満の子どもでは寝かせて測る**乳児用身長計**を使います。頭板に子どもの頭をつけて固定させ、計測者は両ひざを押さえて足をまっすぐにそろえ、足関節が直角になるように足の裏に足板をスライドします。しかし、片足だけでは正確ではありません。いずれにしても複数の介助者があるとやりやすく、なるべく同じ人が測るとなお正確です。

2歳以上の子どもは立って測ります。両足を伸ばしてかかとを柱につけ、あごをやや引かせてから測定版を頭頂部におろします。そのとき、耳の穴と目尻が水平になるように支えます。ひざを曲げがちなのでひざをおさえます。しかし、2～3歳頃はこわがることが多く、おとなが手本を見せてから測るとうまくいきます。

#### 3. 頭囲

後頭部の突出しているところ（結節）と眉間（眉と眉の間で鼻根部の上方）に巻尺をめぐらせます。



#### 4. 胸囲

巻尺を肩甲骨の下端から水平に前へまわし、腹式呼吸になったら左右の乳首の真上を通して息を吐き終わったときに測ります。身長と同様2歳から立位で測り、臥位・立位の変更を記録します。

## 2. 乳幼児身体発育値（身長・体重・頭囲・胸囲）

乳幼児の身体発育値は厚生労働省が10年ごとに全国規模で実施する年・月・日齢別・性別の計測値と、**文部科学省の学校保健統計**から得たデータとを合わせた数値が基準となっていて、平均値が示され、大・中・小にグループ分けされていました。しかし、平均値が標準値と誤解される弊害があったので、昭和51年（1976年）からはパーセンタイル値で表示することになり、母子健康手帳にも身体発育値ではなくパーセンタイル値による曲線が掲載されています。

資料 P272～280は保育園児年齢層の、身長・体重・頭囲・胸囲を示したものです。

## 3. 測定値の読み方

身体測定によって得られた数値は発育や栄養状態を知る基本です。判定の基準となるのは10年ごとに**厚生労働省**が作成する「乳幼児身体発育値」で、母子健康手帳に記載されているものは平成22年度のものです。

注意しなければならないのは、それが標準あるいは基準と誤解されて、無用な不安を親にいだかせないように配慮することです。

測定値を母子健康手帳の発育曲線にプロットしてみて、曲線に沿っていればその子なりに順調な発育経過をとっているとみなしてよいのです。％は比率ですが**パーセンタイル**は順位あるいは位置を示します。50 パーセンタイル値は「**平均値**」ではなく100人中 50 %目の「**中央値**」と呼ばれます。

大切なことは、計測した時点の数値だけにとらわれず、曲線が横ばいであったり凹凸を示すような不自然な型をとっているかどうかには注意することです。

## 4. 身体測定の間隔（目安）

	乳 児	幼 児
体 重	1 週おき	1～3 か月おき
身 長	2 か月おき	6 か月おき
頭 囲	6 か月おき	1 年おき
胸 囲	6 か月おき	1 年おき

多忙な保育現場ではきびし過ぎるかと思われそうですが、これはあくまでも目安です。場合により幼児の体重は「3 か月おき」でもよいでしょう。

## 5. 乳歯の萌出（図1表1）

乳歯は生後7 か月頃に下顎乳中切歯（下の前歯）から生え始め、2歳4 か月頃に上顎第2乳臼歯（上の奥歯）が最後に生えて、上下 10 本ずつ 20 歯がそろい、しっかり噛めるようになります。生える順序は、前歯から奥歯の順ですが、前から3番目（乳犬歯）と4番目（第一乳臼歯）は通常、逆の順序で生えてきます。上顎と下顎には、同じ歯種でも生える時期に少し差があります。

歯の生え方は、育児担当者が見てわかることから、周りの子ども達と比べて一喜一憂しがちです。最初に生える下顎乳中切歯も 50 %タイル値は生後7 か月ですが、早い乳児では生後2 か月で生えはじめますし、逆に1歳のお誕生日近くになってやっと生えてくることもあります。いずれにしても異常なことではなく、乳歯の萌出にはそれだけ個人差が大きいことを知らせ、育児不安を取り除いてあげるような対応が大切です。

臼歯が生えそろう前には、子どもは「受け口（反対咬合）」のような噛み方をするのがよくあります。噛み合わせがしっかりしてくれば、ほとんどの場合普通に噛めるようになります。

## 6. 永久歯の萌出（図1表2）

永久歯への生え替わりは、下顎中切歯（下の真ん中の前歯）から始まります。6歳